

令和2年10月30日

学校法人 木島学園
北信越柔整専門学校

学校関係者評価委員会報告書

令和1年度自己点検・自己評価報告書について、下記の通り評価結果を報告いたします。

記

I. 学校関係者評価委員

碓井 貞成 (学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校 校長)
嶋谷 清 (公益社団法人 石川県柔道整復師会 会長)
金田 豊茂 (公益社団法人 石川県柔道整復師会 理事学術部長)
岡本 透 (石川県柔道整復師協同組合 専務理事)
酒井 重数 (サカイ接骨院院長・(株)ブレイン代表取締役)

II. 学校関係者評価委員会開催日

令和2年10月22日(金) (会場 本校1号館4階会議室)

III. 学校関係者評価委員会報告

(適正・・・4、ほぼ適正・・・3、やや不適正・・・2、不適正・・・1)

評価項目	委員の評価	評価項目	委員の評価
教育理念・目標	4	教育環境	3.6
学校運営	3.8	学生受入れ募集	3.7
教育活動	4	財務	3.2
教育成果(学習成果)	3.5	法令等の遵守	4
学生支援	3.8	社会貢献	4

更なる職業教育の維持向上に努力を行います。

昨年に引き続き、学生受入れ等に注視の意見をいただきました。

今年度の結果は、教育理念、教育内容など良い評価をいただきましたが、昨年に引き続き、学生受入れと中長期的な財務基盤の構築に注視の指摘を受けました。

教育目標および教育環境を前面に押し出し、近年の少子化で学生数の減少に、コロナ渦の中どのように対策をし取組みを行うか、また、バランスの良い内容のある専門学校を築き上げ、更なる職業教育の向上のため努力を惜しみなく積み上げて行くものです。

注視してきた項目が評価されました

- (1) 教育理念・目標の明確化
- (2) 目的をもった学校運営
- (3) 授業評価の実施・評価体制
- (4) 就職率・資格合格率など、高いレベルの教育成果があった
- (5) 即社会に活躍出来る人材の育成

などの諸点について良い評価をいただきました。これらの項目は本校が力を入れてきた項目であり、教職員一同うれしく思っており、更なる教育の向上を目指します。

指摘された項目

- (1) 学生受入れ募集

SNS の活用及び高校のガイダンス訪問・訪問模擬授業時に柔道整復師の特性を、学生目線でわかりやすい説明が必要か。また、コロナ渦の中でどのように柔道整復師の特性を発信していくか対策が必要。

- (2) 財務

収支のバランスを考え、すべて必要経費の圧縮に努める必要あり。

などの諸点について指摘をいただきました。これらの項目は本校の今後の将来展望を左右する項目であり、教職員一同心して取り組みします。

専門学校しかできない「職業人」教育

平成 26 年 3 月文部科学省から「職業実践専門課程」の認定を受け、専門学校の持つ職業教育力の特徴「専門的な教育と職業観を涵養する教育とが一体的かつ効率的になされている」点を更に重点におき、即社会に貢献できる職業人を作り上げる。

評価を励みに、更なる向上・努力をいたします

本校は教職員一人ひとりが目標達成できるよう、正しい目標設定と目標に到達させる機能に取り組んで来ました。今回の評価は本校の将来展望を予知するものであり、良い評価を受けた項目は継続し、また、指摘を受けた項目には注力・新しい対策を計画・実行し、より良い専門学校・教育力向上に努めて行きます。